

平成25年度 第1回 経営協議会 議事要録

日時：平成25年6月25日（火）15：00～16：55

場所：事務局1号館2階会議室

（構成員） 学長，蟻川，工藤，小畑，庄山，関，土井，中島，橋本，理事・副学長(企画・人事担当)，理事・副学長(教育・国際担当)，理事・副学長(研究担当)，理事・副学長(財務・広報担当)，圓川，横田の各委員，副学長・事務局長

（構成員以外） 清水監事，鈴木監事，水本副学長，植松副学長，丸山副学長，大学院理工学研究科理学系長，大学院理工学研究科工学系長，大学院生命理工学研究科長，大学院総合理工学研究科長，大学院情報理工学研究科長，大学院社会理工学研究科長，大学院イノベーションマネジメント研究科長，精密工学研究所長，原子炉工学研究所長，附属図書館長，附属科学技術高等学校長，技術部長，関係部課長・事務長

資料

1. 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 2-1. 平成24年度決算概要
- 2-2. 平成24事業年度財務諸表(案)
- 2-3. 平成24事業年度事業報告書(案)
- 2-4. 平成24事業年度決算報告書(案)
- 2-5. 独立監査人の監査報告書
- 2-6. 監事の監査報告書
- 3-1. 平成26年度特別経費事業概要（案）
- 3-2. 平成26年度施設整備費等要求事業（案）
4. 国立大学法人東京工業大学の役職員の報酬・給与等について（案）
5. 工学分野のミッションの再定義（本学再修正案）
6. 平成23事業年度における剰余金を目的積立金とすることについて
7. 平成24年度の資金運用状況等（平成25年3月末現在）
8. 平成24年度監事監査報告書
9. 国立大学法人における会計監査人の選任について
10. 猿楽荘の売却について
11. ケリー国務長官、東京工業大学で講演（概要）
- 12-1. 東京工業大学視察について
- 12-2. 教育再生実行会議有識者委員視察（概要）
13. 東工大の教育改革

参考資料

1. 国立大学法人東京工業大学経営協議会委員名簿

○ 学長から、参考資料1に基づき、新規委員及び部局長等の異動について紹介があった後、新規委員及び各部局長等から挨拶があった。

○ 平成24年度第5回経営協議会議事要録（案）の承認

○ 審議事項

1. 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

岡田理事・副学長から、資料1に基づき、国立大学法人評価委員会へ提出する本報告書について説明があり、審議の結果、これを了承した。

また、最終的な取りまとめについては、学長に一任願いたい旨の提案があり、これを了承した。

2. 平成24年度決算について

大谷理事・副学長から、資料2-1から2-6に基づき、本決算について説明があり、審議の結果、これを了承した。

3. 平成26年度概算要求事項について

大谷理事・副学長から、資料3-1に基づき、特別経費の要求事業概要について説明があった後、岡田理事・副学長から、資料3-2に基づき、施設整備費等の要求事業概要について説明があり、審議の結果、これを了承した。

また、概算要求事項の優先順位付け等、及び大学改革に係る経費の文部科学省との調整を踏まえた対応について、学長に一任願いたい旨の提案があり、これを了承した。

4. 国立大学法人東京工業大学の役員の報酬等及び職員の給与の水準の公表について

岡田理事・副学長から、資料4に基づき、本学の役員の報酬等及び職員の給与水準を公表する旨の説明があり、審議の結果、これを了承した。

○ 報告事項

1. 「国立大学のミッションの再定義」について

岡田理事・副学長から、資料5に基づき、6月4日に開催された「工学分野のミッションの再定義に関する意見交換（2回目）」の状況等について報告があった。

2. 平成23事業年度における剰余金を目的積立金とすることについて

大谷理事・副学長から、資料6に基づき、平成23事業年度における剰余金を目的積立金としたことについて報告があった。

3. 平成24年度の資金運用状況等について

大谷理事・副学長から資料7に基づき、平成24年度の資金運用状況等について報告があった。

4. 平成24年度監事監査報告書について

学長から、資料8に基づき、監事から、学長あてに、本報告書が提出された旨の報告があり、次いで、清水監事から、報告書の内容について説明があった。

5. 会計監査人の選任について

大谷理事・副学長から、資料9に基づき、会計監査人の選任について報告があった。

6. 猿楽荘の売却について

大谷理事・副学長から、資料10に基づき、本学所有の猿楽荘については、中期計画「Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画」として記載していたが、一般競争（売却）入札を実施のうえ、落札業者と不動産売買契約を締結し、5月23日付けで所有権の移転を行ったことについて報告があった。

なお、譲渡収入の二分の一については、平成25年度中に独立行政法人国立大学財務・経営センターに納付することについて、併せて報告があった。

7. 米国ケリー国務長官の講演会について

学長から、資料11に基づき、平成25年4月15日に本学において開催された、米国ケリー国務長官の講演会について報告があった。

8. 教育再生実行会議有識者委員による本学視察報告について

学長から、資料12-1及び12-2に基づき、5月2日に行われた、教育再生実行会議有識者委員による本学視察の概要について報告があった。

○ 大学運営の諸問題について

1. 東工大の教育改革について

学長から、資料13に基づき、本学の教育改革について説明があった後、意見交換が行われた。

（主な意見等）

- ・ ミッションの再定義の中に「時代を創るグローバル理工人」という言葉があるが、そこが教育改革ではどのように具体的になっているのか。
- ・ 学士修士一貫教育、修士博士一貫教育とあるが、いままでと何が違うのか。学生にとっては、博士課程を出れば研究職であり、修士課程を出れば就職するといったイメージであるので、東工大が、社会にインパクトを与えるような、今までとは違う人材像を描いているという例を示すことができると、学生にはわかりやすいのではないかと。
- ・ 東工大の先生方が、自分の担当される授業をどうやってこの改革の趣旨に沿った形に変えていくか。インセンティブを何かの形で考える必要があるのではないかと。
- ・ 例えば、東工大の卒業生のうち何%位がノーベル賞をとるような研究開発に向かうとか、

何%くらいが社会貢献，世界的に働けるような方向に進むとか，東工大の卒業生にはこうな
ってほしいという数値的なものがあるといいのではないか。

- ・ 限られた単位数の中で，いかに効率よく，うまくカリキュラムを取っていくかが問題なの
で，学生がどのようにカリキュラムを選択すれば理想的な形になるのかについては，きめ細
かなサポートを行う必要があるのではないか。

○ その他

1. 次回開催について

学長から，今回は，平成25年10月31日（木）13：15から，事務局1号館2階会議
室で開催する旨の案内があった。

以 上